

農地と就農者を増やして農業再生の実現へ。 大きな夢に情熱注ぐソーシャルベンチャー。

株式会社マイファーム



「もったいない」耕作放棄地を 活用する新事業モデルを立案

幼い頃、家庭菜園に熱心な母親と共に野菜作りの楽しさを知った西辻一真社長。小学校では植物採集で賞をもらうほどの植物マニアだった。高校1年生の時に通学路で耕作放棄地を見かけ、「もったいない。ここを使って何かできないだろうか」と問題意識を持つようになった。このような経験が独自の哲学に貫かれた農業振興ビジネスを興す出発点になったと振り返る。

「衰退傾向が続くこの国の農業をなんとかしたい。そう志して農学部に進学したが、生産能力を向上させることに主眼をおいた農学教育に違和感を持った。耕作放棄地は全国で約40万ヘクタール(2010年当時 農林水産省集計)に達し、農業従事者も減少が続いている。この状況を変えて、農家数と農地面積を回

復しないと農業再生の解決に結びつかない。そう気づいた時に、夢のある事業モデルが頭に浮かんだ。

それが株式会社マイファーム(京都市)の現在のビジネスの基礎を成す、「三つのステップで農地面積と農業従事者を回復していく」という事業モデル。目指しているのは自分で作って自分で食べる「自産自消できる社会」の創造だ。

体験農場で農業への関心誘う 農業教育で自立できる農家を育成

ステップ1は、耕作放棄地を地権者から借りて、農業体験を望む人へ貸し出す「マイファーム農園」事業。なるべく大勢の人に野菜を育てる喜びを味わってもらい、農業に関心を持つてもらおうのが狙いだ。当然、耕作放棄地の再生にもつながる。ステップ2では、農業体験を通じて就農を志すようになった人に基礎的な技術

農園事業を軌道に乗せる環境を整えた。「法改正は同時に類似の農園事業への参入者を増やすことにもなったが、このようなサービスが広まればより多くの耕作放棄地再生につながる」と歓迎する。

若い就農者を育てる アグリノベーション大学校

「アグリノベーション大学校」と名づけた週末農業ビジネススクールを10年に開校。講師には選りすぐりの先進農家をそろえ、実践的な農業技術を学んだ卒業生はすでに500人にのぼっている。地元でUターンするなど各地で就農している人も多く、中には海外で就農したり、同世代と比べて高収入を得ている人もいるという。

ステップ3の流通サポートでは、西辻社長の郷里・福井県坂井市三国町で、店舗の横にある畑から食べたい食材を客が自ら収穫、それを調理して提供するという体験型農園レストラン「Nora」を営

や知識、マーケティング等のビジネススキルを学んでもらうため、週末農業ビジネススクールを開校。教育を通して「農家として自立できる能力とバイタリティ」を伝授する。そしてステップ3が、就農した卒業生が育てた農産品の流通サポートも含むレストランや直売所の運営だ。



子供から大人まで幅広い世代で楽しむことができる「マイファーム農園」



直営農場で作った野菜などを販売する「マイファーマー京都店」

むほか、京都・名古屋・東京に直営農場で作った野菜等を扱う直販店「マイファーマー」を展開。新規就農者などの販路開拓をサポートするため、飲食店等への宅配にも取り組む。

農家数と農地面積の回復という夢に向かって、着実に一歩ずつ進む西辻社長。だが、課題はまだ多いと自己採点は甘くない。

2007年に24歳の若さでマイファームを設立して以来、西辻社長は自らが描いたこの事業モデルの具現化に情熱を注ぎ、夢を信じる力を糧にしながら、段階的にすべてのステップを実現させてきた。現在、マイファーム農園は全国に103園(フランチヤイズを含む)あり、利用者



農業技術はもちろん、就農に必要な知識を身につける「アグリノベーション大学校」



休日には行列もできるという農園レストラン「Nora」

「今後は地方や過疎地の耕作放棄地の再生もお手伝いしたいし、海外に目を向ければ、砂漠化や塩害等により耕作できない土地はたくさんある。東日本大震災で塩害を被った宮城県の農地を独自の土壌改良法で回復させた経験などを生かし、世界の農地再生でも力を発揮したい」。壮大な将来構想も、すでに視野に入っている。

誰も超えられなかった制度の壁 正面突破で法改正を導き出す

もちろん起業当初から順調に進んだわけではない。「まず耕作放棄地がなかなか借りられない。20代の若者が農業の再生を語っても地権者さんは心を閉めてくれず、事業モデル自体も理解してもらえなかった。それ以上に苦労したのは、所有者以外の耕作を禁じる農地法の壁。終戦直後の成立時には意義があったこの法律も今や時代に合っていない。耕作放棄地が増える一因になっていた」。

西辻社長はこの問題を抜本的に解決しなければ日本の農業の再生は難しいと考え、思い切って自らが農林水産省の政策審議委員になり提言することで、法改正にまでこぎつけた。

マイファーム農園と似た事業モデルを思いついた人は他にもいたが、制度の壁などに阻まれて誰も実践できなかったという。しかしマイファームは自力で耕作放棄地利用の幅を広げること成功し、

Profile

株式会社マイファーム

- 本社(京都オフィス)/京都市下京区朱雀正会町1-1 KYOCA会館3階
- 設立/2007年
- 資本金/8,500万円
- 従業員数/15名
- 事業内容/マイファーム農園事業、アグリノベーション大学校事業、直営農場事業、レストラン事業、小売店事業、流通インベション事業等

<http://myfarm.co.jp/>



代表取締役社長
西辻 一真氏

Voice

4月末から、滋賀県・野洲にある直営農場でアグリノベーション大学校の特別コース「木村秋則 自然栽培塾コース」を開講しています。農業界と一緒に盛り上げてくださる皆さまのご受講をお待ちしています。
(詳細はアグリノベーション大学校ホームページをご覧ください)